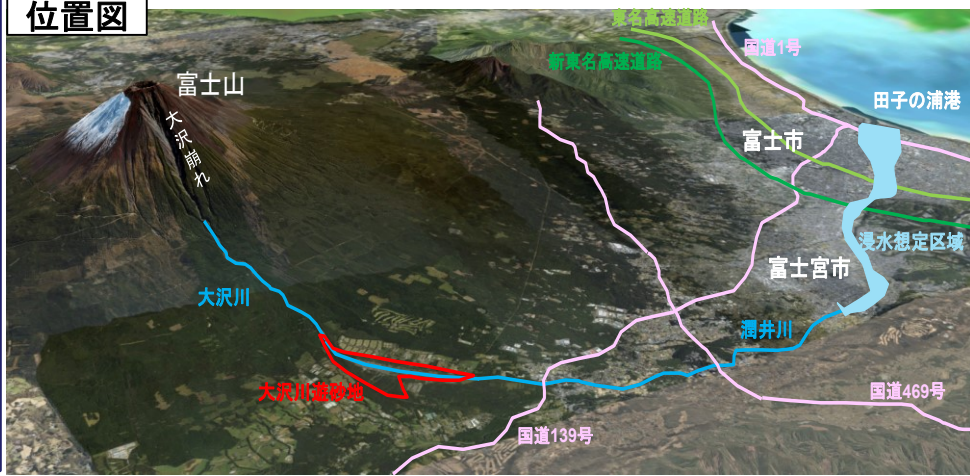


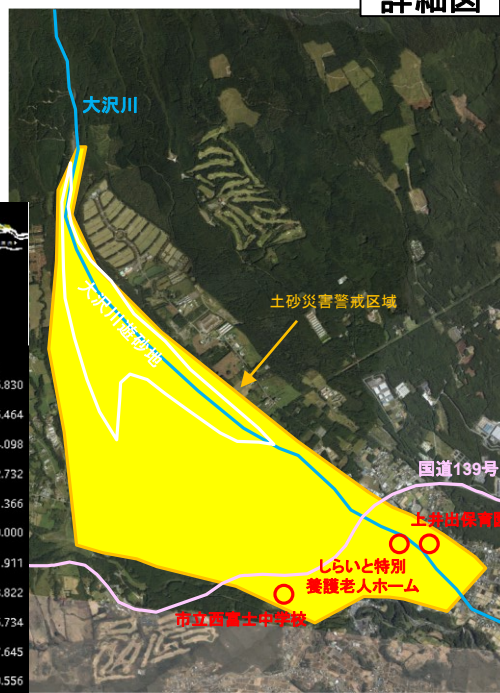
大沢川遊砂地が土石流を捕捉し被害を防止(富士宮市上井出)

災害発生日：令和3年3月21日
降雨状況：連続雨量 258mm (3月21日1時～21日20時)
 時間最大雨量 31mm (3月21日15時～16時)
 ※大滝雨量観測所 (国土交通省設置：大沢川上流)
発生箇所：静岡県富士宮市 (大沢崩れ)
崩壊状況：土石流捕捉量 約470,000立方メートル
状況：3月21日の降雨で、富士山大沢川では土石流が発生しましたが、砂防施設 (大沢川遊砂地) が効果を発揮したため、被害はありませんでした。大沢川遊砂地で捕捉した土砂量は約470,000立方メートルでした。

位置図



詳細図



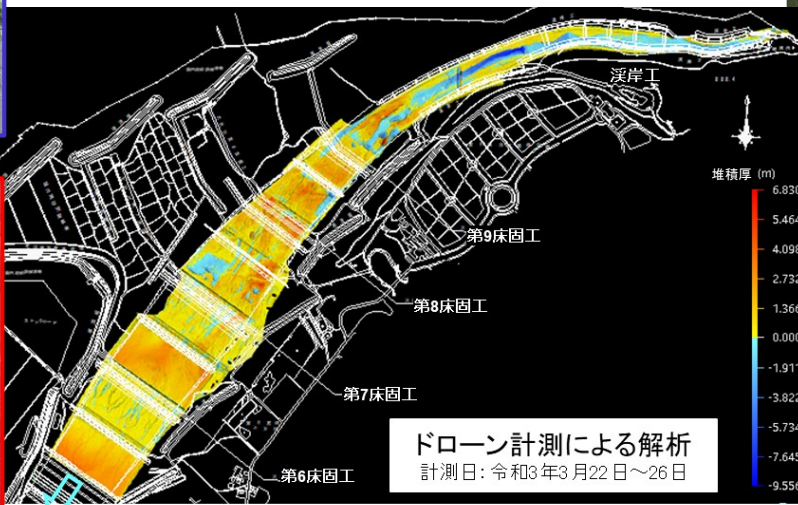
約47万 m^3 の捕捉量は、大沢川遊砂地が完成した平成21年以降で最大の規模でしたが、過去5年間で約55万 m^3 を除石した結果、下流への被害を防止しました。



土石流発生前 (R2.8.4)



土石流発生後 (R3.3.22)



ドローン計測による解析
 計測日：令和3年3月22日～26日